

郡山女子大学

家政学部
人間生活学科

キャリア教養学科

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

2年生の12月下旬に公務員試験に落ちてしまい、そこから編入に切り替えて受験した。大学に3年次編入して、もう一度公務員試験を受けようと思ったから。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

ゼミの先生やキャリア支援センターの職員さんに面接練習や、相談をしながら本番に臨んだ。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

試験問題が明らかにされていなかったため、当日は自分の実力で解いた。公務員試験の教養試験対策を一年生のころから行って、似たような問題が出たため解くことができた。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

地域について学ぶ授業が多く、知識や愛着が深まり将来は地元で就職したいと考えられるようになった。「愛と奉仕」の精神を聖母で身につけられたため卒業後は他者に向けて、活かしていきたいと思う。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

「自分が考えていること、思っていることを気持ちを込めて話せば面接官に思いが伝わる。」と教えてくださったので、当日も自分自身を一生懸命伝えることができた。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

- ①練習通りに進めることができ、頑張ってきたことが報われたと思った。
- ②興味深い授業や友人関係に恵まれてとても充実した学生生活だった。
- ③練習したことを発揮できるように、後悔しないように頑張ろうと思った。
- ④やっと決まった安心感があった。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

編入に向けて色々と不安な面もあると思いますが、桜の聖母の先生方や職員さんはとても親身になって相談に応じてくださるので一人で抱え込まずに、アドバイスを活かしながら勉強や面接練習を進めていってください。周りの生徒が就職先から内定をもらっていても、自分の人生なので編入に向けて後悔しないようにできることを全力で取り組んでください。

